令和2年度保護者アンケート集計結果 4:そう思う、3:少し思う、2:あまり思わない、1:思わない、0:わからない

	評 価 項 目	%					平 均	昨 年
		4	3	2	1	0		
1	学校や各年次の経営方針が保護者に十分に伝えられていると思いますか。	59	31	10	0	0	3.5	3.1
2	総合学科やシラバス（学習内容）・観点別評価についての説明は十分に行われていると思いますか。	57	33	6	2	2	3.5	3.2
3	生徒の実態や進路志望に応じたカリキュラムを編成していると思いますか。	65	27	4	2	2	3.6	3.5
4	生徒の主体的な学習活動や家庭学習の定着のための工夫がなされていると思いますか。	47	39	4	6	4	3.3	3.0
5	生徒に興味・関心をもたせ、分かりやすい授業づくりに努めていると思いますか。	41	43	4	4	8	3.3	3.3
6	教職員は教育活動に使命感と熱意を持って取り組んでいると思いますか。	61	33	2	2	2	3.6	3.2
7	生徒の個人情報の取扱いについて、十分に配慮されていると思いますか。	67	20	0	6	6	3.6	3.4
8	校則を遵守し、基本的な生活態度（時間を守る、挨拶をする、服装・頭髪をきちんとするなど）を身につけるための指導が適切にされていると思いますか。	73	18	4	2	2	3.7	3.6
9	生徒の規範意識を高め、非行や問題行動の防止に努めていると思いますか。	69	20	0	2	8	3.7	3.6
10	生徒の悩み事などに対応する教育相談が適切になされていると思いますか。	53	29	6	6	6	3.4	3.3
11	教師は面談等を通して生徒を理解し、生徒一人一人に合った指導をしていると思いますか。	63	24	4	4	4	3.5	3.4
12	いじめの未然防止は適切になされていると思いますか。	63	24	2	6	4	3.5	3.3
13	いじめの早期発見・早期対応は適切になされていると思いますか。	61	29	2	4	4	3.5	3.2
14	交通安全や防災教育など生徒の安全に対する取り組みは適切になされていると思いますか。	67	27	0	2	4	3.7	3.4
15	清掃が行き届いており、環境の美化が図られていると思いますか。	76	24	0	0	0	3.8	3.8
16	部活動（愛好会を含む）は活発に行われていると思いますか。	63	24	6	4	2	3.5	3.5
17	生徒は学校行事・生徒会行事（体育祭や文化祭など）に満足していると思いますか。	43	37	12	8	0	3.1	3.2
18	地域の人材活用や地域に貢献する活動に十分に取り組んでいると思いますか。	51	43	2	2	2	3.5	3.5
19	進路に関する情報は適切に提供されていると思いますか。	51	35	8	2	4	3.4	3.2
20	生徒の進路志望達成に向けてきめ細かな指導がなされていると思いますか。	61	27	6	2	4	3.5	3.4
21	課外講習や長期休業中の講習など、学習の機会を適切に提供していると思いますか。	61	24	4	6	4	3.5	3.3
22	本校舎と保護者・PTA活動との協力・連携が十分に行われていると思いますか。	45	39	12	4	0	3.2	3.3
23	施設・設備は充実していて、十分に整備されていると思いますか。	63	31	0	4	2	3.6	3.4
24	本校舎での学校生活は明るく充実したものになっていると思いますか。	65	22	6	2	4	3.6	3.5
25	本校舎に入学させてよかったと思いますか。	69	24	2	0	4	3.7	3.6

令和2年度 教職員による学校評価結果(令和2年12月実施) 対象:教職員14名

No.1

※4:そう思う 3:やや思う 2:あまり思わない 1:思わない 0:わからない

※2と1の評価を付けた場合は、どの評価事項のどのような点が2や1の要因となったかコメント欄に具体的に記入

教務図書部

No.	項目	評価事項	今年度平均	昨年度平均
1	1 基礎・基本を重視した授業の展開	(1)「分かる、面白い」と言われる授業を展開し、学習意欲を喚起する。 (2)小テストを通じて生徒の学力やつまづきを把握し、授業に反映する。 (3)小テスト及び各教科・科目の課題を通じて家庭学習を定着させる。	3.5	3.7
2	2 主体的・対話的で深い学びの研究と授業改善	(1)探究する態度の育成や表現力を高める指導を研究する。 (2)学期毎に生徒による授業アンケートを実施し、授業改善をする。 (3)校外の研修や公開・研究授業を通じて授業力を向上させる。	3.5	3.6
3	3 地域資源の有効活用と学校情報の発信	(1)特別活動、総合的な学習・探究の時間等を通じて地域と連携する。 (2)ホームページ、学校案内を通じて学校情報を発信する。 (3)公開授業や中高連携協議会等を通じて地域の中学校と連携する	3.6	3.9
4	4 情操教育	(1)朝自習の時間や長期休業等を通じて読書習慣を定着させる。 (2)各教科と連携し、図書館の活用や図書の貸し出しを増やす。 (3)図書委員会で図書だよりを3回発行し、新着図書等の情報発信をする。 (4)優れた伝統や文化等の鑑賞を通じて、豊かな心を育成する。	3.5	3.4

生徒指導保健部

No.	項目	評価事項	今年度平均	昨年度平均
5	1 基本的生活習慣の確立・生徒理解	(1)容儀指導を通じて校則厳守と規範意識の態度を育成する。 (2)生徒一人ひとりに目を配り、元気な挨拶と礼儀正しい態度を育成する。 (3)玄関指導により生徒を把握し事故・非行を未然防止する。 (4)年3回の2者面談を通じて、生徒理解を深め、全教員で情報共有する。 (5)生活相談アンケートを通じて、いじめの未然防止、早期発見・早期対応を実施する。	3.7	3.9
6	2 安全安心な学校生活の充実	(1)生徒の安全に配慮し、危機管理マニュアルの周知徹底を行う。 (2)校内外の施設・設備の安全点検、安全管理、巡回指導を実施する。 (3)交通安全教室、防災教室を実施し交通ルールや避難経路の周知徹底を行う。 (4)性教育セミナー、薬物乱用防止教室、食育講座を通じて命の尊さや食の大切さを理解させ、健康の重要性を自覚させる。	3.6	3.8
7	3 特別活動・部活動の活性化	(1)学校行事・生徒会行事を充実させ、生徒の主体性を培い自己伸長できる力を育む。 (2)特別活動や部活動を計画的に指導し、生徒が社会を逞しく生きることができる力を育む。 (3)教職員が一体となって粘り強く取り組み、生徒が自ら考え、多様な人と協調できるように指導する。	3.5	3.4
8	4 健康管理、教育相談・特別支援、環境管理	(1)健康管理 ア 健康診断、健康観察、健康相談により、健康状態の把握をする。 イ 保健室来室状況やアセス検査から心身の問題を抱えている生徒の把握と早期対応を行う。 ウ 年次・他分掌・家庭と連携し、健康相談活動を実施する。 (2)教育相談の活動を図り、生徒の学校生活を支える。 ア 特別支援を必要とする生徒の対応をする。 イ カウンセリング機能の充実と活用(SC・SSWの要請、報告)をする。 (3)環境管理 清掃、美化活動を充実させ、学習環境の整備を実践することで、省エネの意識を高める。	3.8	3.9

令和2年度 教職員による学校評価結果(令和2年12月実施) 対象:教職員14名

No.2

※4:そう思う 3:やや思う 2:あまり思わない 1:思わない 0:わからない

進路指導部

No.	項目	評価事項	今年度平均	昨年度平均
9	1 進路指導計画の計画立案	(1) 各年次担当者、各分掌と意見交換しながら、生徒の多様な進路志望に対応できる指導計画を立てる。 (2) 年次に応じた職業観・勤労観を育成するため、外部団体や事業所と協力して進路説明会・講話を実施する。	3.7	4.0
10	2 主体的進路研究や体験活動を通じたキャリア教育の充実	(1) インターンシップを実施し、充実した事前学習・事後学習を行う。また、実施にあたっては生徒の進路志望に即した受け入れ事業所の開拓と実習内容の調整を行う。 (2) 「産業社会と人間」「FST」の授業編成や実施計画について教務部・年次と連携し、生徒が自らの進路について主体的に考えられる場面作りを行う。 (3) 社会の変化に対応できるように、授業や行事での協働を通して「積極性」「柔軟性」「協調性」を身に付けさせる。	3.5	3.9
11	3 進路指導のための情報収集と生徒・保護者への時期を得た進路情報の提供	(1) 「進路の手引き」を作成し年度初めに配付する。 (2) 「進路講話」「進路説明会」をはじめとした校内進路行事を実施し、保護者にも案内する。 (3) 面接・小論文指導計画を立案・調整する。 (4) 講習会参加による教員の進路指導力を向上させる。 (5) 外部団体からの進路情報を収集し、生徒の進路指導に活用する。 (6) 進路資料室に進路関係の資料・受験報告書・過去問題を備え、活用にも供する。	3.6	3.5

渉外部

No.	項目	評価事項	今年度平均	昨年度平均
12	1 本校教育活動の情報発信	(1) ホームページやPTA新聞を通じて学校の情報を保護者や地域に向けて発信する。 (2) 校内研修会への参加を促進し、会員相互の親睦を図るとともに体育祭や文化祭などの学校行事に気軽に参加しやすい環境を整える。	3.3	3.6
13	2 学校教育の環境改善	(1) 後援会の協力を得ながら、生徒が安全に部活動に参加できる環境を整える。 (2) 同窓会事務局として、同窓会総会や交流会・同窓会入会式を運営し、卒業後も同窓生として学校と繋がりを持つ体制を整える。	3.7	3.7
14	3 私費の予算立案と会計処理	(1) 各会計(PTA・後援会・協賛会・同窓会)の予算編成及び会計実務の適切な処理を行う。	3.8	3.9

1年次

No.	項目	評価事項	今年度平均	昨年度平均
15	1 ホームルーム経営	(1) ホームルーム活動や学校行事に積極的に取り組み、互いを尊重し、思いやり、信頼する態度を育成する。 (2) 家庭と情報を共有して連携を密にし、年次内で課題と目標を共有しながらチームでの指導を行う。	3.5	3.8
16	2 生徒指導	(1) 挨拶や適切な言葉遣い、服装容儀の徹底、時間・期限の厳守等について、毅然とした態度で指導を行う。 (2) あらゆる場面で生徒の様子を観察し、コミュニケーションを取ることで生徒の状況把握を行う。 (3) 保護者、生徒指導部、教育相談・特別支援委員会と連携し、生徒の抱える問題の解決のために的確な指導にあたる。 (4) 他者の人格を傷つける言動を決して許さないという認識を共有し、毅然たる態度で指導に臨む。	3.3	4.0
17	3 進路指導	(1) 生徒個々の能力・適性・希望等を早期に把握し、具体的な目標を持たせる。 (2) 個人面談の機会を多くし、生徒個々の特性・志望に則した進路指導を行う。 (3) 進路指導部と連携し、生徒と保護者双方に適切な資料や情報を発信する。 (4) ホームルーム活動や総合的な探究の時間、産業社会と人間などを通じて、職業観・勤労観を育成し、生徒に自らが将来を主体的に考える態度を身に付けさせる。	3.3	4.0
18	4 学習指導	(1) 生徒の学習状況を把握し、個々の課題にあわせた指導を行って基本的学習習慣を確立させる。 (2) 教科担当者や家庭との情報を交換し、家庭学習や課題提出を徹底して行わせる。 (3) 成績不振を未然に防ぐために、教科担当者と連携して早期に指導に取り組む。	3.3	3.9

令和2年度 教職員による学校評価結果(令和2年12月実施) 対象:教職員14名

No.3

※4:そう思う 3:やや思う 2:あまり思わない 1:思わない 0:わからない

2年次

No.	項目	評価事項	今年度平均	昨年度平均
19	1 ホームルーム経営	(1)生徒が基本的な生活習慣を身に付け、自立した学校生活を送れるよう、年次教員団が一体となり指導する。 (2)ホームルーム活動や学校行事等、あらゆる活動を通して、相手の立場に立って考えることや計画的に物事を進めることの大切さを指導する。 (3)家庭との連携を密にし、生徒理解のために個人面談や三者面談を実施し、安心して学校生活を送れる環境を整える。	3.6	3.7
20	2 生徒指導	(1)挨拶や適切な言葉遣い、服装容儀の徹底、提出物の期限厳守等について、毅然とした態度で指導する。 (2)年次教員団による定期的な個人面談を通して、教育相談を充実させ、生徒の抱える問題の解決のための的確な指導にあたる。 (3)他者の人格を傷つける言動を決して許さないという認識を共有し、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期解決に向けて毅然たる態度で指導に臨む。	3.8	3.7
21	3 進路指導	(1)個人面談を通して生徒個々の能力・適性・希望等を早期に把握し、生徒に具体的な進路目標を持たせるよう指導する。 (2)進路指導部と連携し、生徒・保護者双方に適切な資料や情報を発信する。 (3)インターンシップを通して望ましい職業観・勤労観を育成し、積極的に資格取得の挑戦をさせる。 (4)進学・公務員希望者への講習、就職希望者へのSPI対策の指導を充実させる。	3.8	3.9
22	4 学習指導	(1)生徒の学習状況を適切に把握し、個々の課題に合わせて休み時間や放課後に補習等を実施し、基礎学力の定着と進路達成に向けた学力向上に取り組む。 (2)教科担当者や家庭との情報交換を密に行い、家庭学習に向かう姿勢を身につけさせ期日までに課題を提出させる。	3.7	3.7

3年次

No.	項目	評価事項	今年度平均	昨年度平均
23	1 ホームルーム経営	(1)3年次としての自覚を持ちながら、ホームルーム活動や学校行事に積極的に取り組み、お互いを尊重し、思いやり、信頼する態度を育成する。 (2)ホームルーム活動での話し合いや、行事ごとの振り返りを通じて、個々の課題や人間関係の課題及び学校生活の課題を見つけ解決できる能力を培う。	3.6	3.6
24	2 生徒指導	(1)礼儀や服装容儀について、規律を遵守し、時間・期限を厳守するとともに正しい言葉遣いや挨拶ができるよう、粘り強く全職員で指導し、基本的な生活習慣を確立させる。 (2)教育相談を充実し、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期解決する。	3.7	3.6
25	3 進路指導	(1)年次団全員で、個人面談や進路達成に向けての進路ノートの指導を行い、生徒個々の希望に沿うように、具体的な目標を持たせて進路達成に向かわせる。 (2)進路指導部と連携しながら、生徒・保護者と面談を行い、適切な資料や情報を提供する。 (3)進学・公務員志望者への講習を実施するとともに、模擬試験・公務員模試を活用し、生徒の実力を養成する。 (4)面接ノートを用いて面接指導を週1回実施し、進路達成させる。	3.8	3.8
26	4 学習指導	(1)各教科担当者と連携を密にし、わかる授業を実践する。 (2)成績不振者に対しては、教科担当者と連携し、随時指導に取り組む。 (3)年次・教科担当者・家庭間の連携を密にし、課題提出や予習復習の家庭学習習慣を身につけさせる。	3.5	3.6

令和2年度 教職員による学校評価結果(令和2年12月実施) 対象:教職員14名

No.4

※4:そう思う 3:やや思う 2:あまり思わない 1:思わない 0:わからない

事務部

No.	項目	評価事項	今年度平均	昨年度平均
27	1 迅速・適切・明快な窓口対応	来校者や電話等への事務室の対応で、相手に不快感を感じさせることのないように、迅速かつ適切・明快に対応する。	3.8	4.0
28	2 予算の有効活用	各分掌・教科等の要望や事業の必要性・緊急性を勘案した予算執行計画の作成、及び必要に応じて予算執行計画の見直しを行い、適時適切な予算執行を行う。	3.9	4.0
29	3 施設設備の安全確保	消防用設備・ボイラー機器等の整備点検及び貯油施設漏洩等緊急事態対応訓練を実施する。	3.9	4.0
30	4 校舎内外の環境整備・美化	積極的に校舎内外を巡回し、施設設備の安全・環境美化を確保する。	3.8	4.0
31	5 各分掌・年次との情報共有	(1)校舎内外、生徒職員の情報を共有し、業務を適切、円滑に行う。 (2)業務の遂行に当たり、分掌外職員とも報告・連絡・相談を行う。	3.7	4.0

学校運営

No.	項目	評価事項	今年度平均	昨年度平均
32	業務改善	(1)会議・研修等への出席・参加などに簡易起案を導入する。 (2)資料を事前配布し、会議時間を短縮する。 (3)学校独自の報告書等を精査・簡素化する。	3.6	3.8
33	教職員の働き方	(1)コミュニケーションしやすい雰囲気づくりに努める。 (2)年次休暇を積極的に取得するなど、意識改革に努める。 (3)部活動休養日を統一して定時退勤日を設定する。	3.7	3.7